

# 第77回全国レクリエーション大会 2023in とくしまプレ大会

## 親子三代どか点ティーボールの部要項

**1 特徴** ティーボールとは、ピッチャーのいない野球型のスポーツです。バッティング  
ティーの上に柔らかいボールを乗せ、力強くバットでボールを打ちます。遠くに  
飛んだときの爽快感は格別です。ティーボールの合言葉は「みんなで、笑顔で楽  
しむ」ことです。誰もが手軽にできるティーボールを芝生の上でいっしょに体験  
しましょう。チーム編成は、こどもの遊び仲間を中心に、その保護者や、おじい  
さんやおばあさんの親子三代でチームをつくって参加してください。

**2 チーム** 出場選手は10人で行います。(こども5人と保護者5人)

選手登録は、こども10人、保護者等10人の20名以内とし、選手以外でベンチに  
入れるのはスタッフ3名以内とします。

**3 服装** 運動のできる服装で、運動靴を着用してください。

**4 用具** ①ボール・・・ティーボール協会公認11インチボール

(柔らかく素手で扱います)

②バット・・・ティーボール協会公認バット

(プラスチック製で、身長に応じた長さの違うバットを用意し  
ます)

③ティー台・・・ティーボール協会公認ティー台

(身長に応じて高さが調節できます)

④ベース及びビブス(打順に合わせて着用)

以上は、主催者が用意します。

※グローブ・・・使用は自由。必要な方は各自で用意してください。

### 5 競技のルール

#### (競技場について)

(1) 塁間の距離は、12mとする。

(2) 塁はベースとする。ただし、触塁はしないで内野マーカーと外野マーカーの間を走  
る。

(3) 本塁、バッターズサークルは、本塁プレートを基点の半径1.5mに円を描くようにライ  
ンを引く。

(4) バッティングティー台は本塁ベースより後方50cm以内に置く。

(5) 本塁での得点は、バッターズサークルに打者が入ったときに得点とする。

(6) 守備ライン(内野ライン・外野ライン)・ホームランラインは、以下の通りとする。

①内野ライン及び外野ラインは引かず、内外野手の守備位置の目安にマーカーを置く。

②ホームランラインは30mとする。

打者はボールが本塁手へ返球されない場合は、一塁（1点）・二塁（2点）・三塁（3点）へと回り、本塁（4点）に戻ったら、2周目に入り、更に一塁（5点）・二塁（6点）・三塁（7点）へと回ることができる。その都度得点が加算される。

(7) バッティングティー台の後方5mに、攻撃側ベンチの安全ラインを引く。

### **(ゲームの進め方)**

- (1) 攻撃側10人の打撃(事前に付けたビブスの番号が打順)が完了すると、攻守を交替する。
- (2) 大人がゲームに参加できるのは5名以内とする。
- (3) 試合は3イニング制とする。
- (4) 選手の交代はビブスの交替により行う。

### **(打撃について)**

- (1) 打者は、思いきりボールを打つ。三振アウトなし。
- (2) 打者は、打った後、バットをフープかコーンの中に入れて走る。
- (3) 走者は、塁ベース後方の打者走路をしっかりと走る。

### **(守備について)**

- (1) 守備者は、打ったボールを捕るために動く。守備者は「オーケー」とか「まかせた」などと声を出して捕りに行く。
- (2) ボールを捕った守備者は、本塁近くにいるティーボールティーチャー（審判）へ返球する。

### **(得点)**

- (1) ティーボールティーチャーは、ボールをバッティングティーの上に置き、手を離れた時、打者の回った塁の数が得点となる。同時は得点とする。
- (2) 指導者と打者チームの全員は、打者走者が一塁ベースを回ったら「1点」、二塁なら「2点」、三塁なら「3点」、本塁（バッターズサークル）を超えたなら「4点」、それでも返球されない場合には、2周目で一塁を回ったら「5点」と大きい声で打者走者の得点を数える。審判員（ティーボール・ティーチャー）はこれを確認し、その打者の得点を決定する。

### **(約束)**

- (1) 打者チームの全選手は、バッティングティー後方5mの打者チームのベンチライン（安全ライン）後方で応援する。
- (2) 守備選手は対戦チームと同数とする。
- (3) ゲーム開始と終了の際には両チームは、整列し、挨拶を交わす。

